

おはようございます。



日本共産党北区議会議員
さがらとしこ
区政レポート

日本共産党議員団

2015.8.18. NO.1335.

ご相談はお気軽に

TEL FAX とも 3905-0970

さがらとしこ事務所

赤羽北3-23-17

(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)



2015.8.16(日)
赤羽駅西口には
署名を112筆
あめ、多くの
ピラを配布。
「シニアズ」宣伝
参加のみなさん

「戦争体験者は、法案もアベ政治も許さない。」

相立団地 赤羽団地、赤羽西
シニアズを結成し8.16大宣伝
そして、赤羽北、赤羽台

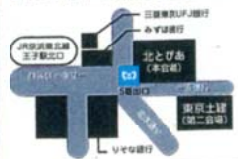


語り継ごう
大戦の記憶。

平和への想い
第21回 平和のための北区の
戦争展

8/22 12:00~19:00
8/23 9:30~17:00

北とびあ 地下1階展示ホール
第二会場：東京土曜北支団



戦後70年となり、戦後生まれが8割を占めるようになった今の日本。二度と戦争をしないと誓った70年前の日本をこれからも守っていくために、世代を超えて悲惨な戦争の記憶を受け継いでいくために今年も北区で戦争展を開催します。

入場無料

高齢化率50%~60%の
「この地域(まち)から声を上げたい。」

●高齢化率50%ということは、そこに居住する住民の半数が65歳以上の方ということです。つまり、戦争体験者も多いということです。
●天皇のため、国のために死ぬことがあたり前のことと教育された軍国少年、軍国少女としての戦争体験。
「戦争の時代をくり返してはならない、今自らの体験を語り、戦争法案は絶対にダメだ。どんな理由であれ、戦争にはならない」と「シニアズ」が結成され、8月16日の大宣伝行動となりました。



ながる反対世論と全国各地の行動がアベ政権を追いつけています! 8割、9割の声によびかける池内なり議員

「車移動なら私も参加できるわ。」
10台が3つのコースを走って、よびかけ

●遠くまで歩くのは大変。国会前に行きたいけれど、この猛暑の中は体力に限界あり…。そこで、車に乗って移動することにしました。団地のベランダから手をふってくれる方や、声援もありました。

やってよかった。
病弱な人も、歩くのが大変な人も、思いは同じ。なんだからね。

国会報告 国会議員から直接お話を聞くことはありませんでした。池内さん、自力ありおね。

国会無視の暴走だ

戦争法案自衛隊内部文書 小池質問に反響

防衛省統合幕僚監部の内部文書「日米防衛協力のための指針(ガイドライン)及び平和安全法制関連法案について」を取り上げた日本共産党の小池晃議員の参院安保法制特別委員会での質問(11日)が反響を広げています。

「しんぶん赤旗」8/13付より



資料を示し記者会見する小池晃副委員長(右)と井上哲士参院幹事長(11日、国会内)

インターネットの短文投稿サイト(ツイッター)上には、「こんなのは法治国家ではない」などの投稿が相次ぎ、新聞、テレビなどのメディアも「自衛隊内部資料めぐり紛糾」「朝日」12日付、「防衛省、安保法案を先取り」「中日」12日付)など小池質問をいっせいに取り上げました。

質問で小池氏は、戦争法案の「8月中の成立・来年2月施行」を前提に、自衛隊内で部隊

順序が逆 ■ これで法治国家か

編成などの法案の実施計画が立てられていた内部文書を暴露。政府も「同じ表題の資料は存在する」(中谷元・防衛相)と認めました。国会で戦争法案が審議中にもかかわらず、自衛隊内部で法案成立を前提にした克明な検討がされていたことを意味し、国会無視、国民を欺くものです。

「日刊スポーツ」(12日付)は、小池氏の追及について「法案成立を目指す安倍政権には想定外の『小池爆弾』となった」と報じています。はたして、安倍晋三首相、中谷防衛相は、この自衛隊の暴走を知っていたのか、知らなかったのか。どちらにしても、その責任が問われる大問題です。

日米安保との関係鮮明に



軍事評論家 前田哲男さん

制服組(自衛官)が「平和安全法制」の成立を前提として、この法制に基づく措置を具体的に始めている動かぬ証拠が示されました。制服組が法の順守をまるで気にかけていない行動をとっており、まさしく戦前の軍部の暴走を思い起こさせる事態です。

团的自衛権と憲法9条との関係について議論されてきました。一方で、この法案のもう一つの側面は、4月27日に日米で合意されたガイドライン(日米軍事協力の指針)の実効性を確保するための法案だということです。それが、この内部文書に先取りする形で示されています。これまでの集团的自衛権と憲法9条との関係を法理的に掘り下げていく縦軸の議論に加え、小池議員の資料によって、「平和安全法制」が日米安保との関係を横軸に持つものであることがよりはっきりしました。

これまで「平和安全法制」にかかわる国会審議では主に、集

村山談話「引き継いだ印象なし」

識者から「失望、歴史に傍観的」

安倍「戦後70年談話」が8月14日に発表されました。

私も読みましたが、識者の指摘のように、「いつどこで、だれが、何を、どうした」がないもの。責任の所在が明確でないのがね。